



平成25年6月27日

各 位

会社名 味の素株式会社
代表者名 取締役社長 伊藤 雅俊
(コード番号 2802 東大)
問合せ先 財務部長 小林 幸彦
(TEL. 03-5250-8161)

(訂正) 「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成25年5月8日発表の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について、訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、XBRL 数値データにつきましては、訂正はございません。訂正箇所は下線を付して示しております。

記

【訂正箇所】

①2 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

I. 経営成績に関する分析

1. 当期の概況

当期の業績全般の概況

(訂正前)

(略)

また、厚生年金基金の代行返上益およびカルピス株式会社(以下「カルピス社」)の株式売却益等491億円を特別利益として計上する一方、事業構造改革に伴う医薬品製造販売設備等の減損損失およびフランスにおける甘味料製造設備等の減損損失等254億円を特別損失として計上した結果、同当期純利益は前期を66億円上回る過去最高の483億円(前期比115.9%)となりました。

(訂正後)

(略)

また、厚生年金基金の代行返上益およびカルピス株式会社(以下「カルピス社」)の株式売却益等491

億円を特別利益として計上する一方、事業構造改革に伴う医薬品製造設備等の減損損失およびフランスにおける甘味料製造設備等の減損損失等254億円を特別損失として計上した結果、同当期純利益は前期を66億円上回る過去最高の483億円（前期比115.9%）となりました。

② 2 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

I. 経営成績に関する分析

1. 当期の概況

当期の主な勘定科目等の増減の状況

(1) 売上高

(訂正前)

(略)

なお、カルピス社製品の影響を除くと、日本では医薬セグメント等の売上げの減少はありましたが、調味料・加工食品や冷凍食品の売上げが伸長したこと、また海外においてコンシューマーフーズおよび飼料用アミノ酸を中心に販売を伸ばしたこともあり、前期を209億円上回る1兆1,113億円（前期比101.9%）となりました。

(訂正後)

(略)

なお、カルピス社製品の影響を除くと、日本では医薬セグメント等の売上げの減少はありましたが、調味料・加工食品や冷凍食品の売上げが伸長したこと、また海外においてコンシューマーフーズおよび飼料用アミノ酸を中心に販売を伸ばしたこともあり、前期を209億円上回る1兆1,130億円（前期比101.9%）となりました。

③ 6 ページ

1. 経営成績・財政状態に関する分析

II. 財政状態に関する分析

1. 当期の概況

当期の連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(億円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	933	885	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	152	569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△744	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	88	101
現金及び現金同等物の増減額	127	381	253
連結の範囲の変更による増加額	1	—	<u>1</u>
現金及び現金同等物の期末残高	1,466	1,847	381

(訂正後)

(億円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	933	885	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	152	569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374	△744	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	88	101
現金及び現金同等物の増減額	127	381	253
連結の範囲の変更による増加額	1	—	<u>△1</u>
現金及び現金同等物の期末残高	1,466	1,847	381

以 上